

新潟県

公民館たより

10

October 2024
No.833



TOPICS

トピックスその①

令和6年度 中越地区公民館職員研修会開催

中越地区公民館職員研修会が、8月22日(木)に魚沼市中央公民館で開催されました。中越地区市町村及び県生涯学習推進課の担当職員等40名が参加し、12時30分から16時15分までの日程で開催されました。

開会



開会のあいさつ
波塚一朗中公連会長



幹事の県教委、湯沢町、
魚沼市、南魚沼市の皆さん

中越地区公民館連絡協議会の波塚一朗会長(加茂市公民館長)から「関プロ公民館研究大会に向けて、分科会の運営などに中越地区で一体となって取り組んでいきたい。今日は効果的なチラシ作りについて佐藤麻記子さんから学ばせて

もらいたい。」という開会のあいさつがありました。

研修会

※テーマ

「目を惹いて、

集客に繋げるチラシ作り」

※講師

Satoma PR&design

代表 佐藤 麻記子様



講師
佐藤 麻記子様

チラシづくりのポイントや効果的なキャッチコピーの作り方など集客に繋げるチラシづくりの基礎を学び、各班で実際にチラシ作りに取り組みました。

チラシ作り 3つのポイント
①誰に配るのか
②どこで配るのか
③手にした人に
どうして欲しいのか
この3つを最初に決定

キャッチコピー
みんなで一緒に食べるから楽しい
アレンジ1
みんなと一緒に食べるのが楽しい
アレンジ2
一緒に食べたら楽しいね



各班でチラシ作りに挑戦



各班の作品を講師が評価

令和6年度 下越地区公民館職員研修会開催

9月26日(木)に関川村で下越地区公民館職員研修会が開催されました。(参加者18名)前半は、せきかわふれあいどうむを会場に、関川クライミングクラブの安久 昭男様、石山 キン様、宮島 克己様を講師に迎えてクライミングの体験を行いました。クライミングの種類や、登るコツなどを面白おかしく教えていただき、クライマーの安全確保を行いながら、優しくお声がけもいただいたおかげで、完登する参加者も現れ、充実したクライミング体験となりました。

後半は、関川村民会館を会場にして、情報交換を行いました。「若者(高校生以上)の公民館事業への関わりについて」をテーマに、市町村の抱える現状や課題、個々の悩みなどを出し合いながら、これらの公民館の在り方について情報交換を行うことができました。参加者からも「他地区の皆さんの意見を聞けて良かった」、「これから事業作りや公民館運営に役に立った」等の声が寄せられ好評でした。閉会後には自由参加でしたが、国重要文化財 渡邊邸を見学させていただき、当時の生活が想像されるとともに、職員による様々な工夫も垣間見られ、昔と現代のコラボレーションを感じられました。



「若者の関わり」をテーマに情報交換



クライミング体験(完登者も)

日程及び次第

第1日 令和6年11月7日(木)

Table with 2 columns: Time and Event. Includes items like 受付, 全体会, アトラクション, 開会行事, 基調講演, トークセッション, 閉会行事, 情報交換会.

第2日 令和6年11月8日(金)

Table with 2 columns: Time and Event. Includes items like 分科会, 受付, 分科会, 閉会.

基調講演

11月7日(木) 14:20~15:10



演題 「公民館のチカラ ~未来につなぐ、未来をつくる公民館~」

講師 千葉大学名誉教授 長澤 成次氏

プロフィール 1951年東京都北区生まれ。千葉大学教育学部・名古屋大学大学院教育学研究科博士課程を経て、千葉大学教育学部教授、千葉大学理事、社会教育推進全国協議会委員長、『月刊社会教育』編集長、日本社会教育学会会長、放送大学千葉学習センター所長などを歴任。現在、東京都国立市・東京都小平市・千葉県成田市公民館運営審議会委員、市川市社会教育委員、うらやす市民大学学長など。編著に『公民館で学ぶ』シリーズI~VI(国土社刊、1998年~2023年)、著書に『公民館はだれのもの』I・II(自治体研究社刊、2016年・2019年)などがある。

トークセッション 11月7日(木) 15:20~16:10

「私からつくる私たちの未来の公民館」 長澤 成次 さん × 角野 仁美 さん × 司山 園美 さん



NPO法人 みらいずworks 角野 仁美 さん

プロフィール 1994年岐阜県生まれ。新潟大学教育学部社会教育専攻卒業。認定キャリア教育コーディネーター。大学時代より、子ども、若者と地域社会をつなぎ、学びをつくる教育ファシリテーターとして多様な学校現場に関わる。現在は探究的な学習のデザインやコミュニティスクールを核とした協働による学び、地域づくりの推進に取り組む。



新潟市地域教育 コーディネーター 司山 園美 さん

プロフィール 新潟県上越市生まれ。コンセプトユニットLOVE-ISMの中心として、司会・パーソナリティーを始め、イベント企画・運営など県内外で活動中。青年育成を目的にした舞台制作を行う、創作表現集団D-Soulの代表も務める。近年は、大学で学んできた地域教育、生涯学習の分野を活かし、学・社・民連携のための事業にも取り組む。新潟市中央公民館運営審議会委員、新潟市社会教育委員。

11月7日(木)に全体会が上越文化会館で、8日(金)に分科会が直江津学びの交流館、上越市春日謙信交流館、上越文化会館、リージョンプラザ上越、高田城址公園オーレンンプラザで開催

されます。2日間のタイムスケジュール、全体会での講演会・トークセッションの講師、分科会のテーマ、発表者、助言者、参加者数などの情報を掲載します。

関東甲信越静公民館研究大会 新潟大会

トピックスその②

情報 1

- 15:20 司山 園美さんによるプレゼン
15:25 角野 仁美さんによるプレゼン
15:30 トークセッション ~気になる話題を深掘り~
15:55 感想共有タイム
16:00 感想発表
16:05 まとめ

分科会発表者一覧表

	分科会名	担当都県	発表者		助言者	
			氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
1	ICTと公民館 ICTを活用した公民館をテーマに、新たなアイデアや活動について考えます。	群馬県	大村 政彦	高崎市久留馬公民館 次長	石野 正彦	文部科学省学校DX戦略アドバイザー
		新潟県	藤井 悠介	村上市中央公民館 主任		
2	人口減少社会における公民館 人口減少社会の状況だからこそ、公民館でできることは何かを考えます。	長野県	清水 成信 叶 裕佳	御代田町公民館 館長 御代田町公民館 主事	若月 隆雄	新潟県立生涯学習推進センター次長
		新潟県	堀 隆行	弥彦村公民館 館長		
3	学校と公民館 学校と公民館との現状を踏まえ、これからの関わり方や活動について考えます。	栃木県	遠藤 敦子	宇都宮市清原生涯学習センター 専任	辻村 貴洋	上越教育大学 准教授
		埼玉県	長峰 淳二	和光市中央公民館 館長		
4	これからの公民館 コミセン化、人権教育や多様化への取り組みなど公民館の様々な課題や在り方を考えます。	神奈川県	高橋 浩 坂庭 京	相模原市立星が丘公民館 館長代理 星が丘公民館 主事	雲尾 周	新潟大学教職大学院教授
		東京都	加藤 友志	国分寺市立並木公民館 事業係		
5	ひとづくり・地域づくりと公民館 公民館に集う人と人、人と地域の関係性の中で、若者などのチカラを生かした地域づくりについて考えます。	山梨県	中村 正彦	甲州市塩山西公民館 館長	長澤 成次	千葉大学 名誉教授
		千葉県	小倉 康嗣	袖ヶ浦市根形公民館 主任主事		

※6ページに新潟大会情報2として、分科会助言者のプロフィールと大会参加者数の概要が掲載してあります。

公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポートします。

1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度
+ 災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)

2. 賠償責任補償

賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)

3. 職員災害補償

全公連見舞金制度+傷害総合保険
【就業中のみ危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店
(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL: 0120-636-717 (通話料無料) FAX: 0120-226-916 (通話料無料)
(受付時間: 平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社 公務文教営業部 文教室
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-4679(受付時間: 平日9:00から17:00まで)



(SJ23-13019) 2024年1月15日作成 [2401K-0]



ひろば 「Public+Personalの 答えは「ナニ」？」

新潟市中央公民館 主幹 片桐 康正

新潟市は令和6年4月に組織改編が行われ、中央公民館と生涯学習センターが一つになりました。「クロスパルにいがた」という建物に、別組織で機能した両者ですが、今回の改編で職員は両方を兼務することになりました。これが結構大変で、ある時は社会教育、また別の時は生涯学習、「今どちらの仕事をしているのだから？」と切り替えがうまくできなくて戸惑うことがあ

ります。そもそも、公民館と生涯学習センターの違いって、皆さんはすぐに説明できますか？私は、両者を考える上で「Public」と「Personal」という視点の違いがあるのではないかと感じています。公民館は地域に向けた公共の場としての役割が強く、生涯学習センターは個人の学びをサポートする場です。同じ教育の土俵で働いているため、社会教育と生

涯学習を完全に分けて考えるのは難しく、むしろ切り離せない部分の方が多いと感じます。この2つが連携することで、学びの循環が始まります。Public（公民館）とPersonal（生涯学習）が一体となった答えはまだ見えていませんが、一緒になったら「何」になるのか、今後注目していただければと思います。



※掲載の写真は、今夏にクロスパルにいがたで行ったイベントで筆者が犯人役として手配された写真です。これも一つの連携です。



土に恋して 陶芸が繋ぐ人と時間 ゆきつばき会（陶芸） （加茂市）

毎週木曜日、創作室へ向かうと、会員の朗らかな声が響きます。現在9名で活

動中の、ゆきつばき会ですが、初心者からベテランまで、どなたも教え合い、熟議し、助け合う仲間の人柄が、何より会の魅力と感じています。窯入れの際に、全員で柏手を打ち、青海神社の神様に「宜しくお願いします!!」と窯の安全をお祈りする場面も、私の大好きな一時です。
幼少期に泥遊びや粘土遊びの経験は、どなたもあるかと思えます。陶芸はセラピーやリハビリにも活用される程に心身研ぎ澄まされ、精神統一にも似ているかもしれませぬ。映し鏡の様に試行錯誤して、

何工程も辿った作品は、窯出しの時に、高揚感と愛着をもたらしてくれます。思い通りではない作品も、誰かの特別に繋がったり…。正確さが溢れる今だからこそ、歪みや不完全さの中に、愛しさを感じるのかもしれない。
体験教室から入会の私ですが、温かい歓迎と仲間の優しさで、今があり、公民館があるからこそこの活動に感謝するばかりです。幸せな楽しい木曜日をありがとうございます。
（名古屋唯記）



作品を前に全員集合



製作活動の様子

実践記録シリーズ

阿賀ふるさとカレッジ「発見教室」

阿賀町公民館

はじめに

阿賀町公民館では、生涯学習の一環として、ふるさと「阿賀」の歴史・文化・自然について関心を持っている人やこれから学習したいという人に「阿賀」についての理解・教養を深めてもらうため、『阿賀ふるさとカレッジ（ふるさと発見教室・あが歴史教室）』を開催しています。

事業概要

阿賀ふるさとカレッジの内容は、ふるさと発見教室を全3回・あが歴史教室を全3回開催しています。教室内容については、町文化協会加盟団体である阿賀路の会と連携し、阿賀町の歴史・文化・自然について解説できる講師を紹介してもらい、より充実した内容となるよう工夫しています。

「ふるさと発見教室」は現地を訪れ、実際に見て学ぶ講座で、「あが歴史教室」は、テーマに沿って講師の解説を座学で学ぶ講座です。

教室の様子

ふるさと発見教室第一回は、当町職員（学芸員）が講師をつとめ、阿賀町にある縄文時代の遺跡や出土品に触れる企画『第三弾』とすることで午前は、国指定史跡の小瀬ヶ沢洞窟と室谷洞窟を訪れ、なぜ阿賀町には重要な洞窟遺跡がいくつもあるのかについて考えてみました。午後は、町郷土資料館にて、

室谷・小瀬ヶ沢洞窟現地



実物の縄文土器の文様を拓本で写し取る実習を行い、文様の面白さや土器の研究方法について楽しく学ぶことができました。【参加者：現地研修十九名・拓本体験十五名】

《土器拓本体験会》



「見て触れて、阿賀町の縄文文化をまるごと楽しむ会part3」 ふるさと発見教室①

この阿賀ふるさとカレッジ【発見教室 歴史教室】は、阿賀町合併以前（旧津川町）時代から続いている事業です。今後も継続して教室を開催し、郷土の魅力を再発見し、町の歴史や文化等にさらに興味を持ってもらえたりと思っています。阿賀町公民館 長谷川千江

今後について

今年度もふるさと発見教室・あが歴史教室とも開催することができました。発見教室（第一回）で国指定史跡である室谷洞窟・小瀬ヶ沢洞窟の現地を見学し、発見教室（第三回）では、長岡市立科学博物館に行き、室谷洞窟・小瀬ヶ沢洞窟遺跡からの出土品【土器・石器】を見学し、解説を聞きました。小瀬ヶ沢洞窟からの出土品は一三五〇点が重要文化財の指定を受けており縄文時代草創期の様相を知ることができました。

教室を振り返って

募集期間	募集対象	募集人数	募集料
令和6年10月10日～11月10日	阿賀町在住の18歳以上の市民	定員10名	無料
令和6年10月10日～11月10日	阿賀町在住の18歳以上の市民	定員10名	無料
令和6年10月10日～11月10日	阿賀町在住の18歳以上の市民	定員10名	無料

【令和6年度阿賀ふるさとカレッジ参加者募集チラシ】



阿賀町の室谷洞窟・小瀬ヶ沢洞窟出土品展示見学
《長岡市立科学博物館にて》



新潟県立歴史博物館
「縄文人の世界、縄文文化を
探るコーナー」



馬高縄文館
【火焔土器ミュージアム】

関東甲信越静公民館研究大会 新潟大会

情報②

大会参加数の概要 (10月15日現在)

- 1 参加者数 533名
(来賓、講師・助言者・全公連関係者16名を除く)
 - ① 新潟県内参加者数 328名
上越地域 156名
中越地域 110名
下越地域及び新潟市 62名
 - ② 新潟県外参加者数 205名
長野県 74名 神奈川県 15名
埼玉県 25名 群馬県 14名
山梨県 21名 千葉県 11名
沖縄県 20名 栃木県 4名
東京都 18名 茨城県 3名
 - 2 全体会参加者数 502名
 - 3 分科会参加者数 378名
(第1分科会 34名、第2分科会 84名
第3分科会 77名、第4分科会 54名
第5分科会 130名)
 - 4 情報交換会参加者数 166名
 - 5 お弁当申し込み者数 315名
 - 6 日本旅行取扱宿泊者数 138名
 - 7 大会冊子への広告協賛
57の企業・団体の皆様
- 多くの皆様のご参加やご協力に
深く感謝申し上げます。

分科会助言者プロフィール



石野 正彦 氏 (文部科学省学校DX戦略アドバイザー)
新潟県公立学校教諭、教頭、校長、新潟県立教育センター指導主事、上越市教育委員会勤務後に早期退職して上越教育大学教授、教職大学院教授(プログラミング教育領域)。専門は情報教育、国語教育、学校経営。2021年に大学を退職。文部科学省学校DX戦略アドバイザー。



若月 隆雄 氏 (新潟県立生涯学習推進センター次長)
小学校教員、社会教育士 H26~28 生涯学習推進センター社会教育主事、R元~R3 教育庁下越教育事務所社会教育課副参事、R4 村上市立瀬波小学校長、R5~ 現職
専門分野: 情報教育、趣味: サウナ



辻村 貴洋 氏 (上越教育大学准教授)
教育行政学を専門とし、個別の学校課題にとどまらず、地域の教育ビジョンを描き出す力量の形成をいかに図っていくべきかを主な研究テーマとしている。現代の自治体教育政策に関連して、住民参加や教育ガバナンスの調査研究を行っているほか、いじめ・生徒指導研究研修センターも業務している。



雲尾 周 氏 (新潟大学教職大学院教授)
新潟市中央公民館運営審議会議長・社会教育委員会議長、新潟県地域家庭教育推進協議会副議長等歴任。文部科学省令和2年度社会教育功労者表彰。現在、新潟市ユネスコ協会会長、新潟市立内野中学校学校運営協議会会長等。著書『学校の安全・地域の安心～地域学校協働活動と生涯学習が守る～』(新潟日報事業社2022)



長澤 成次 氏 (千葉大学名誉教授)
1951年東京都北区生まれ。千葉大学教育学部教授、「月刊社会教育」編集長、日本社会教育学会会長などを歴任。現在、東京都国立市・小平市、千葉県成田市公民館運営審議会委員。編者に「公民館で学ぶ」シリーズI~VI (国土社刊、1998年~2023年)、著書に「公民館はだれのもの」I・II (自治体研究社刊、2016年・2019年) などがある。

〔堀之内公民館館長 今井 康博記〕



祝
魚沼市
二十歳の集い

持ち前の才能を發揮した公民館活動を期待しています。

2年目の今年はとも頼もしい存在になっていきます。
童顔で四人兄弟の末っ子の齋藤さんは、人から可愛がられる才能に満ち溢れており、私が考えるに公民館の仕事にとっても向いている逸材だと思っています。

それまでやっていた税務課の仕事とは全く違う公民館の業務は初めての事だらけで最初の頃はだいぶ戸惑っていたようです。打合せから戻って事務室のドアが開くのと同時に彼のため息が聞こえてきましたが今は仕事にもすっかり慣れ

素顔拝見



魚沼市堀之内公民館
齋藤 蒼さん

令和5年4月から公民館の業務を担当して今年で2年目。

宮柵二記念館や生涯学習連絡協議会、公民館講座の業務の他にサービスクォーター窓口業務の業務も担当しています。

それまでやっていた税務課の仕事とは全く違う公民館の業務は初めての事だらけで最初の頃はだいぶ戸惑っていたようです。打合せから戻って事務室のドアが開くのと同時に彼のため息が聞こえてきましたが今は仕事にもすっかり慣れ

編集後記

今年度は関プロ公民館大会の準備に毎日が続いています。県公連事務局ばかりでなく、上越市を中心として上越地域3市の皆様は、すべての担当分野に関わり大変なことと心から感謝しております。また、中越地域の皆様には分科会の運営を、下越地域及び新潟市の皆様には全体会の受付業務を、それぞれ担当していただきます。新潟県公民館連合会のすべての皆様に衷心より御礼を申し上げます。関プロ公民館大会が成功することを願い、最後の準備に丸となって当たってまいりましょう。(五井)